

家庭に必要な 環境教育

環境教育という言葉の時々耳にしますが、その内容は広範囲で、人間環境・自然保護・公害教育等地域環境から地球環境まで、全ての自然環境を意味します。

すでに学校では、以前から各分野で計画的に教育しています。しかし、それを実行するのは主として家庭生活であり、各家庭で独自の環境教育に対する関心を持ち、推進していくことが必要です。

なぜ今、環境教育が必要なのか考えてみましょう。この言葉は日本では昭和四十年ごろから使われるようになりました。そのころから日本経済は急激に成長し、「消費は美德」と言われ、この三十年の間に目指していた豊かな生活を営めるようになりました。その反面、地球環境は大きく変化してきています。石油エネルギーの消費は地球の温暖化、砂漠化を進め、二酸化炭素を増加させました。この自然豊かな都留市でさえ、川は汚染され、山林は荒れ、自然環境の破壊が進行して来ました。その中で、野山をかけずりまわっていたガキ大将は姿を消し、学習塾通いの子どもが目に入ります。

また、機械化の進行は農作業等家族総出でしなくてよくなり、家庭電化製品の普及で子どもの仕事は極端に少なくなりました。親の

仕事をしている姿を見る機会も減り、親の権威も薄れつつあります。近年の経済成長は、自然環境の破壊ばかりか、人間社会に流れる心も破壊しつつあるような気がします。二十一世紀を生きる子どもたちは、この悪化した環境問題を避けて通るわけにはいきません。

これからは家庭で意図的に環境教育を行い、積極的に取り組む子どもを育成することが親の責務となってきました。

そこで、次に家庭でどのような環境教育を行うのか考えてみたいと思います。



最近の家族旅行は県外ばかりか海外へ行く人も多いようです。それはそれでよいのですが、子どもは郷土の事を知りません。都留市で一番高い三ツ峠に登山してみてください。化石も採集できます。高川山は都留市が一望に見渡せ絶景です。「そこは学校で遠足に行くから行かない」ではなく、家族でゆっくり鳥の声を聞き、植物図鑑などをもって草花、樹木の名前を覚えながら歩くことがよいと思います。自然の雄大さ、自然を愛する心を自然が教えてくれるのではないのでしょうか。できたら大自然の中でキャンプをすることもお勧めします。日常気にも止めない

ゴミの処理、ガスや、電気のありがたさを実感するでしょう。洋式水洗トイレしか使えない子もいます。便利すぎる生活に麻痺した中で、親は何を教えるべきかを発見することができません。

畑で、自分の食べる野菜を最後まで育てることも一案でしょう。食べ物の大切さを知り、土の中の虫けらさえ、作物の成長に役立っていることを知るでしょう。

家庭の下水をたどってみてください。下流の相模湖や津久井湖は家庭排水に含まれるチッソやリンにより、青粉が発生しています。イオン化したチッソやリンは人工的には浄化できません。河川敷のヨシが繁茂する浅瀬で、微生物は有機物を分解し、植物は汚水を吸い、浄化している様を観察して欲しいと思います。

平成九年四月からは「容器包装リサイクル法」が施行されます。どうかこれを機にご家庭でも取り組んでみてください。都留市では資源ゴミの分別収集を行い、その利益を全額市内の小中学校等に分配しています。

蜜観察会、小動物の観察会も有志の方々が企画してくださっています。ご家族でぜひ一度参加してみたいかがでしょうか。親が環境教育をすることは、親子の絆を深めるとともに、郷土を愛し心の広い、優しい気持ちの子どもを育成することと確信しています。

第一回女性プラン 推進フェスティバル

女と男ともに築こう パートナーシップ21

日時 3月6日
受付 午後1時～
開会 午後1時30分～3時30分
場所 文化会館4階大ホール
創作劇「都留家のめざめ」
作 佐藤秀子
問題提起
●意識と現実の狭間で
都留市女性団体連絡協議会
●女性プラン策定にかかわって
都留市女性プラン推進委員会
志村 繁
●今、子育ての中で思うこと
都留市保育所連合会保母会
佐藤孝子
主題講演
山梨県立女子短期大学
松本佐代子教授
問合先 市教育委員会
都留市女性プラン推進実行委員会

平成九年度 ボーイスカウト隊員募集

ビーバー隊
(新1・2年生) 10名
カブ隊
(新3・5年生) 若干名
申込・問合先
ボーイスカウト都留第一団事務局
重原安雄 ☎(43)1497
申込締切 二月末日

大学図書館から 休館のお知らせ

図書館では、四月から新規システムの下で図書館業務を開始します。

新規稼働に向けて、図書館内の作業を行うため、全館の窓口を休止します。

大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

休館期間 2月12日～4月13日
問合先 都留文科大附属図書館
☎(43)4341

増田誠画伯の足跡を訪ねて パリ風景画展

都留市名誉市民第一号である故増田誠画伯の生前の足跡を訪ね、画伯のこよなく愛した美しいパリをキャンパスに描き込んだ風景画展を開催します。

期間 2月19日～3月2日
時間 午前9時30分～午後4時
休館日 月曜日
場所 ふるさと会館1階 展示ホール
主催 増田誠画伯の足跡を訪ねる会
後援 市教育委員会
問合先 小俣次朗
☎(43)7503